

都道府県名：愛知県 団体名：豊川総合用水土地改良区

地域

愛知県の東三河地域は、古来より幾度となく干害に見舞われてきた地域であり、特に渥美半島は大きな川がないために農家は大変な苦勞をしていました。昭和24年に宇連ダム等を水源とし渥美半島の先端まで水を届ける豊川用水の建設工事が始まり、昭和43年全面通水以降は、キャベツ、花卉、温室トマト等収益性の高い農業への転換が図られ、全国屈指の優良農業地帯に発展しました。

豊川総合用水土地改良区は、東三河地域全域に及ぶ広大な農地を潤す530kmの農業用水支線水路を管理しています。

経緯

- 昭和27年12月 豊川用水土地改良区設立（昭和61年豊川総合用水土地改良区へ組織変え）
- 昭和43年 6月 豊川用水通水
- 平成11年 3月 豊川用水施設緊急改築事業竣工
- 平成11年12月 豊川用水二期事業着手(実施中)
- 平成14年 3月 豊川総合用水事業竣工
- 平成14年10月 豊川総合用水土地改良区創立50周年記念式典挙行

功績内容

・宇連ダムを水源とする豊川用水建設の実現に向け尽力し、通水後は40年以上にわたり農業用水の適切な管理を行うとともに、豊川総合用水事業等による新たな水源開発を推進し、農業用水の安定供給に貢献しています。

・昭和52年から毎年、水源地域への感謝訪問を行い上下流交流の取り組みを行う他、海外からの研修生の受け入れや出前事業等を行い水の重要性等の普及に努めています。



日々の管理



出前授業

交流イベントの開催

JICA研修



受益地の農業

キャベツ



菊



みかん



ナス